

安倍政権を支える「日本会議」の全貌

～その闇を暴く～

俵 義文 (子どもと教科書全国ネット 21 事務局長)

1. はじめに～改憲運動の現状

(1) 安倍政権は極右政権、改憲「実現をめざす」政権、歴史わい曲政権 (資料・内閣一覽)。

(2) 美しい日本の憲法をつくる国民の会」が設立 (2014 年 10 月 1 日)、「草の根」の改憲運動を展開。日本会議がつくった「改憲国民運動組織」である。

共同代表：櫻井よしこ・田久保忠衛 (日本会議会長、杏林大学名誉教授)・三好達 (日本会議名誉会長、元最高裁長官)

代表発起人：40 人、役員各界代表 500 名。

幹事長：百地章 (日本大学教授)、事務総長：内田文博 (神道政治連盟幹事長)、事務局長：梶島有三 (日本会議事務総長)、事務局次長：内田智 (弁護士)・高橋美智留 (弁護士)

*「憲法改正を実現する」1000 万署名運動を展開。国民投票での 3000 万賛成の基礎票になる。

*2015 年 11 月 10 日、日本武道館で「今こそ憲法改正を！1 万人大会」を開催 (11,300 人が参加—主催者発表)。安倍首相がビデオメッセージ。

*2016 年 5 月 3 日、「民間憲法臨調」と共催して「第 18 回公開憲法フォーラム」を開催 (1200 人参加—主催者発表)。1000 万人署名は 700 万人と発表。安倍首相がビデオメッセージ。全国 28 会場にインターネット中継。

この設立総会で、衛藤晟一首相補佐官が、「最後のスイッチ」と題して次のように発言。

「最後のスイッチが押されるときが来た。自民党は結党以来、憲法改正を旗印にしてきたが、平成 5 年 (1993 年—俵) に自民党が政権を失ったとき、綱領から自主憲法制定をはずすべきだとの提案がなされ、そのときに故・中川昭一氏や安倍総理など「教科書議連」10 数名が党綱領検討委員会 30 名の中に入り込んで侃々諤々の議論をした。憲法改正を降ろすのであれば自民党なんてやめるべきだなどと議論した結果、『これからの時代にふさわしい憲法をつくる』ということで決着した。そしていま、そのときのメンバーが中心となって第二次安倍内閣をつくることに成功した。すなわち、安倍内閣は憲法改正の最終目的のために成立したといっても過言ではない。

衆院が任期満了、かつ参議院選挙が行われる平成 28 年 (2016 年—俵) のそのときまでにわれわれが憲法改正を実現する状況をつくるかどうか、その一点につきる。」(日本会議機関誌『日本の息吹』2014 年 11 月号)

(3) 憲法改正の早期実現を求める国会議員署名及び憲法改正の早期実現を求める地方議会決議

(4) 「憲法おしゃべりカフェ」の開催

(5) 日本会議の改憲内容—自民党の「憲法改正草案」とほぼ同じ。9 条改憲をめざしながら、当面、緊急事態条項の新設、24 条を改定して「家族条項」をつくる、などを要求。

2. 安倍晋三と安倍政権による改憲運動、歴史改ざん運動

(1) 出発点は 1993 年 7 月の「小沢の乱」による総選挙で自民党が初めて敗北して野党へ

・河野洋平官房長官談話 (日本軍「慰安婦」問題)

・細川護熙首相の「日本の戦争は侵略戦争だった」発言

- ・これに反発して、右翼の「日本は侵略国ではない」「国民運動」の展開
- ・この右翼運動に呼応して、自民党が「歴史・検討委員会」(93.8～95.2)を設置
 - 95年8月15日に『大東亜戦争の総括』を発刊
 - ①大東亜戦争は侵略戦争ではない、アジア解放の聖戦。②南京大虐殺・日本軍「慰安婦」問題などはでっち上げ、日本は戦争犯罪を侵してはいない。③日本の侵略・加害を教科書から消すための新たなたたかいが必要。④このような歴史認識を国民に定着するための国民運動を行う(自民党は前面に出ないで資金その他でバックアップし、学者を中心として展開する)。
- ・この歴史・検討委員会105名の中に安倍晋三・中川昭一・衛藤晟一岸田文雄など、のちに「日本の前途と歴史教育を考える若手議員の会」を設立する議員が10数人が選ばれて参加。衛藤がいう前述の党綱領検討委員会もほぼこの時期と重なる。
- (2) 90年湾岸戦争後の自衛隊の海外派兵を可能にする改憲の動きが強まる
 - 財界団体、財界人の改憲発言、93年読売新聞社の第1次憲法改正試案など
- (3) 1995年の「戦後50年」をめぐる右翼や自民党の動向
 - ・94年4月、戦後50年国会決議に反対するため日本を守る国民会議など右翼が「終戦50周年国民委員会」結成
 - ・94年12月、自民党内にも戦後50年国会決議に反対の「終戦50周年国会議員連盟」結成(会長・奥野誠亮、事務局長・板垣正、事務局長代理・安倍晋三)
 - ・この議連は、96年6月、「明るい日本」国会議員連盟の改組(役員は同じ)。「慰安婦は売春婦」などの攻撃を国会などで展開→この組織と運動は次の日本の前途と歴史教育を考える若手議員の会(「教科書議連」)に引き継がれる。
- (4) 第3次教科書「偏向」攻撃(96.7～)以降の右翼と自民党極右勢力養成と結集
 - ・96年7月～ 第3次教科書「偏向」攻撃
 - ・97年1月30日、新しい歴史教科書をつくる会(「つくる会」)発足
 - ・97年2月27日、日本の前途と歴史教育を考える若手議員の会(「教科書議連」)発足(会長・中川昭一、事務局長・安倍晋三、幹事長・衛藤晟一)
 - ・97年5月30日、日本を守る国民会議と日本を守る会が組織統一して、日本会議が発足前日の5月29日に日本会議と連携するために、超党派の日本会議国会銀懇談会が設立

3. 日本会議とは何か—改憲翼賛の右翼組織

- ・スローガン「誇りある国づくり」
- ・会員は約38,000人、全都道府県に「本部」を設置
- ・2002年頃から支部づくりを開始、9条の会が発足(2004年6月)後、全国各地に九条の会が結成され、改憲世論が多き変化、これに対抗するために、300支部をめざして支部づくりが本格化、2016年8月末現在、約249の支部ができています。
- ・2007年10月6日、日本会議地方議員連盟発足、地方議会から「誇りある国づくり」をめざす約1630人の会員
- ・支部と日本会議地方議員連盟が連携して各地で、教科書攻撃・「つくる会」系教科書の採択活動、「日の丸・君が代」の強制、改憲運動、歴史わい曲運動を展開中
- ・育鵬社版教科書をつくる日本教育再生機構・「教科書改善の会」、「つくる会」は日本会議と非常に緊密な関係

4. 日本会議の結成、めざすもの、そのルーツは？

(1) 日本会議は「日本を守る国民会議」と「日本を守る会」が1997年5月30日に組織統一して発足。同時に日本会議国会議員懇談会（「日本会議議連」）が前日（5月29日）に設立。

- ・日本を守る会（宗教右翼組織） 1974年4月結成
- ・日本を守る国民会議 1981年10月結成

日本を守る会が中心になってすすめた元号法制化運動（1979年6月元号法成立）から生まれた。元号法制化実現国民会議（78年7月、議長・石田和外元最高裁長官）を改組して発足。

- ・日本を守る国民会議は「憲法、防衛、教育を同じ課題」と位置づけ、国家意識＝愛国心培い、天皇中心の国家をつくらんとことをめざす。高校日本史教科書（1986年）の発行は「天皇中心の国家体制をつくるための憲法改正への思想的潮流形成」と位置づける。

(2) 日本会議のコアメンバーは60年代後半～70年代の右翼・民族派学生運動＝新興宗教「生長の家」運動出身者である。

- ・1966年「生長の家学生会全国連絡会」（「生学連」）（土橋（高橋）史郎委員長）結成
- ・1966年長崎大学「生学連」が梶島有三・安東巖の指導で社青同から学園を解放一梶島は67年に長崎大学学生協議会（「長大学協」）を結成し議長に就任。梶島は全国の「生学連」に大学内に「学協」結成を呼び掛ける。衛藤晟一は大分大学・別府大学で「学協」を結成して活動。九州学協は69年5月～11月に長崎大学、熊本大学、鹿児島大学などで全共闘などのバリケード封鎖を排除。全国7つの「ブロック学協」発足。
- ・1969年5月全国学生協議会連合（「全国学協」、右翼・民族派全学連）結成（委員長・鈴木邦男）。

- ・1970年11月3日橿原神宮で日本青年協議会（日青協）結成。

委員長・衛藤晟一（首相補佐官）

書記長・梶島有三（日本会議事務総長）（影の安倍ブレーン）

政策部長・伊藤哲夫（日本政策研究センター代表）（安倍の筆頭ブレーン）

編集局長・松村俊明（日本会議事務局長）

百地 章（日本大学教授、日本会議政策委員、当時の役職は不明）

- ・日青協の下部組織

「生学連」、**「全国学協」**、反憲法学生委員会全国連合会（**「反憲学連」**）、日本教育研究所
反憲法学生委員会全国連合会

議長・宮崎正治（日本教育再生機構常務理事、元「つくる会」事務局長）

編集長・松村俊明（日本会議事務局長）

日本教育研究所

事務局長後に副代表・高橋史朗（日本会議政策委員）

教科書理論研究会代表・松村俊明（日本会議事務局長）

(3) 日本会議の事務局を担うのは、梶島有三に率いられた日青協メンバー

5. 日本会議の主要な組織及びフロント組織

- ・日本女性の会
- ・日本青年協議会（日青協）
- ・都道府県本部及び地域支部
- ・「21世紀の日本と憲法」有識者懇談会（「民間憲法臨調」）（代表・櫻井よしこ）

- ・美しい日本の憲法をつくる国民の会（代表・櫻井よしこ・田久保忠衛・三好達）

6. 日本会議と共同・連携する議員連盟（国会・地方）

- ・日本会議国会議員懇談会（「日本会議議連」）（資料7・役員名簿）

「日本会議議連」は、「歴史・教育・家庭問題」（座長・高市早苗＝07年当時、以下同じ）、「防衛・外交・領土問題」（座長・安倍晋三）、「憲法・皇室・靖国問題」（座長・鴻池祥肇）の三つのプロジェクトを設けて、合同役員会などで日本会議と協議し、日本会議の要求・政策を国政に持ち込む活動をしている。また、「日本会議議連」は、憲法、防衛・基地、領土問題、皇室制度、危機管理などをテーマに日本会議の中心メンバーの櫻井よしこ（ジャーナリスト）、百地章（日本大学教授）、西修（駒澤大学名誉教授）、長尾一紘（中央大学名誉教授）、長谷川三千子（埼玉大学名誉教授）、大原康男（国学院大学名誉教授）などを講師に勉強会を行い、「理論武装」と「意思統一」を行って活動している。こうした活動の上に、「日本会議議連」は、14年6月に「皇室制度PT」（座長・衛藤晟一）、14年11月に「憲法改正PT」（座長・古屋圭司）の2つのプロジェクトチーム（PT）を設置して、勉強会と政策づくりを行っている。

- ・日本会議地方議員連盟（資料6・地方議連名簿一覧）

日本会議支部と連携して、地方議会を舞台に、地域で教科書採択運動、「日の丸・君が代」強制、憲法改悪・歴史わい曲運動などを展開。

7. 日本会議（日本を守る国民会議）の活動と「実績」

元号法制化の達成、政府主催の天皇奉祝行事の実現、女系女性天皇容認の皇室典範改定阻止、国旗国歌法制定、中学校教科書の「慰安婦」記述削除、教育基本法「改正」、選択的夫婦別姓法案阻止、外国人地方参政権法案阻止、検定制度改悪と教科書統制強化、道徳の「教科化」実現、例年の8・15の靖国神社参拝運動の広がり、領土問題での排外主義の広がり、教科書への領土問題の政府見解の記述実現、育鵬社教科書の採択

8. 日本会議が中心的な課題として取り組む運動（資料・日本会議の主な活動）

- (1) 「悲願」の憲法「改正」、「戦争する国」に向けた活動、自衛隊激励運動
- (2) 天皇（皇室）崇拜運動（皇室の伝統を守る国民運動）
- (3) 教育・教科書問題
- (4) 夫婦別姓反対
- (5) 永住外国人地方参政権反対
- (6) 「慰安婦」・南京大虐殺など日本の侵略戦争と加害の正当化
- (7) 領土問題
- (8) 靖国神社参拝運動、首相や閣僚の参拝実現、靖国神社国営化など

9. 安倍政権を支える歴史修正主義の極右勢力

- ・安倍政権を誕生させ、支えるのは日本会議、日本教育再生機構、「つくる会」、在特会などの右翼勢力と日本会議議連、創生「日本」、神道議連などの極右議連である

日本会議の主な活動

2016年5月11日改訂 作成：依 義文（子どもと教科書全国ネット 21 事務局長）

| 年・月 | |
|------------|--|
| 1998年11月 | 「天皇陛下御即位10年をお祝いする国民の集い」（5000人参加） |
| 1998年～99年 | 道徳教育の推進、国旗国歌法制化をめざす国会論議の展開 |
| 1999年 | 「天皇陛下御即位10年奉祝委員会」（会長・稲葉興作）を設置し「奉祝」運動を展開 |
| 2000年3月 | 教育改革を推進するため「日本教育会議」（石井公一郎代表）を設立 |
| 2000年9月 | 「新しい教育基本法を求める会」（西澤潤一会長）を設立 |
| 2001年9月 | 日本会議の女性組織「日本女性の会」（安西愛子会長、06年に小野田町枝に交代）を設立、「女性を元気に国づくり」をスローガンに教育・教科書問題や夫婦別姓反対、男女共同参画反対などで活動 |
| 2001年11月 | 「21世紀の日本と憲法・有識者懇談会」（「民間憲法臨調」、三浦朱門代表）を設立、新憲法の大綱を発表。以後、毎年5月3日に集会を開催 |
| 2002年 | 男女共同参画条例是正運動、国立追悼施設建設反対運動を展開 |
| 2002年5月3日 | 第1回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）『「民間憲法臨調」はかく主張する！—提言・憲法改正への視角—』 |
| 2002年11月3日 | 第2回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）『「民間憲法臨調」はかく提言する！—憲法改正の焦点—』 |
| 2003年1月 | 「日本の教育改革有識者懇談会」（「民間教育臨調」、西澤潤一会長）を設立 |
| 2003年 | 教育基本法改正に向けて—全国キャラバン国民署名運動、地方議会決議運動を開始 |
| 2003年5月3日 | 第3回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）『「民間憲法臨調」はかく訴える！—国民の安全をいかに守るか—』 |
| 2003年11月2日 | 第4回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）『「民間憲法臨調」はかく訴える！—日本の国家戦略と憲法—』 |
| 2004年2月 | 超党派議連「教育基本法改正促進委員会」（委員長・亀井郁夫参議院議員）設立（衆参380人参加） |
| 2004年5月3日 | 第5回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）「国会議員に問う！憲法改正の焦点と戦略」 |
| 2004年 | イラク派遣自衛隊激励運動 |
| 2004年9月 | 「英国教育調査団」派遣（団長・平沼赳夫、古屋圭司・下村博文・亀井郁夫・山谷えり子・松原仁・笠浩史議員、栞島有三他日本会議事務局） |
| 2004年11月3日 | 第6回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）「改憲の壮途へ—21世紀日本の確立—」 |
| 2004年11月 | 「教育基本法改正促進委員会」と「民間教育臨調」が教育基本法改正を求める中央国民大会を開催。教育基本法改正を求める署名350万人、賛同国会議 |

| | |
|----------------|---|
| | 員 380 人、地方議会決議 33 都府県、236 市区町村 |
| 2005 年 3 月 | 日本会議首都圏地方議員懇談会設立 |
| 2005 年 5 月 3 日 | 第 7 回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）「衆参憲法調査会長および各党代表に聞く 憲法改正問題の現状と方向」 |
| 2005 年 8 月 | 終戦 60 年国民の集い、靖国神社 20 万参拝運動（20 万 5000 人が参拝） |
| 2005 年 | 皇室典範改定反対運動 |
| 06 年 3 月 7 日 | 女性・女系天皇を容認する皇室典範改定反対の「皇室の伝統を守る国民の会」設立。1 万人大会で「男子による万世一系の皇統維持」「皇室敬愛の教育の充実」などを決議。 |
| 2006 年 5 月 3 日 | 第 8 回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）『民間憲法臨調』はかく訴える！—日本の安全保障と憲法 9 条— |
| 2006 年 | 皇室の伝統を守る国民運動を展開 |
| 2006 年 9 月 | 安倍政権「美しい国創り内閣」の誕生を熱烈に支援 |
| 2007 年 5 月 3 日 | 第 9 回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」・新憲法制定促進委員会準備会と共催）『民間憲法臨調』はかく訴える！憲法改正を政治のステージへ |
| 07 年 10 月 6 日 | 日本会議・「日本会議議連」結成 10 周年記念大会 |
| 07 年 10 月 6 日 | 日本会議地方議員連盟設立 |
| 07 年 11 月 28 日 | 「日本会議議連」総会。沖縄教科書検定記述（「集団自決」の軍強制削除問題）について検定制度堅持及び全国学力テスト結果の情報公開要求を決議 |
| 2008 年 2 月 | 学習指導要領改訂案に対して「16 項目の改善要求」を提案。文科省に対して学習指導要領に対する要望書提出を呼びかけ |
| 2008 年 5 月 3 日 | 第 10 回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）「緊急提言 国会は『憲法審査会』での改憲論議を急げ！」 |
| 08 年 6 月 2 日 | 「天皇陛下御即位 20 年奉祝委員会」（会長・岡村正日本商工会議所会頭）設立 |
| 2008 年 | 「新教育基本法に基づく教科書を！—反日自虐教科書から日本の誇りを育てる教科書へ」キャンペーン開始 |
| 08 年 9 月 22 日 | 「日本会議議連」が新教育基本法に基づく新たな教科書検定制度を求める国会議員署名 218 名分を町村信孝官房長官（当時）と鈴木恒夫文科相（当時）に提出した。参加議員は、古屋圭司・萩生田光一・赤池誠章衆議院議員、衛藤晟一・義家公介参議院議員。同署名は 10 月 9 日現在 236 名。 |
| 08 年 12 月 19 日 | 「天皇陛下御即位 20 年奉祝」中央式典 |
| 2009 年～ | 外国人参政権反対キャンペーン |
| 2009 年 5 月 3 日 | 第 11 回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）「国の安全・独立と憲法 9 条—対馬・ソマリアを問う—」 |
| 09 年 12 月 7 日 | 「これでいいのか日本〈千島が危ない〉韓国に侵される国境の島」、対馬・竹島など領土ナショナリズムキャンペーン |
| 09 年 12 月 23 日 | 「ストップ！外国人参政権・夫婦別姓」集会 |
| 10 年 1 月 25 日 | 永住外国人地方参政権に反対する国民集会（国会議員 20 人、地方議員 100 |

| | |
|-----------------|---|
| | 人を含む 1100 人参加) |
| 2010 年 | 「夫婦別姓」「外国人参政権」は「国家解体法案」キャンペーン |
| 10 年 3 月 20 日 | 「夫婦別姓は家族の絆を破壊する」「家族の絆を守る国民大会」 |
| 10 年 4 月 17 日 | 外国人参政権に反対する 1 万人大会（日本武道館）。35 県議会、234 市町村議会決議、551 自治体首長・3411 地方議員が署名 |
| 2010 年 5 月 3 日 | 第 12 回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）「いま、あらためて国家を考える！—現憲法の落とし穴—」 |
| 10 年 9 月 30 日 | 「これでいいのかい日本！ 守れ 尖閣諸島緊急集会」 |
| 10 年 11 月 21 日 | 尖閣諸島を守る全国国民集会（1250 人） |
| 2011 年 5 月 3 日 | 第 13 回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）「いま、直面する国家的危機から憲法問題を考える！—領土・大震災の視点から—」 |
| 2011 年 12 月 8 日 | 日本女性の会設立 10 周年記念集会（明治神宮）（1800 人参加） |
| 12 年 3 月 30 日 | 尖閣を守れ 領海警備の強化を求める国民集会（600 人） |
| 2012 年 5 月 3 日 | 第 14 回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）「国会に問う、憲法改正の道筋を！—安全保障・緊急事態への対処の視点から—」 |
| 12 年 5 月 30 日 | 万世一系の皇統を守る「皇室の伝統を守る国民の会」（会長・三好達日本会議会長）設立 |
| 2012 年 6 月～ | 高校日本史教科書攻撃キャンペーン |
| 2013 年～ | 教育再生、憲法改正早期実現の運動展開 |
| 2013 年 5 月 3 日 | 第 15 回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）「参議院選挙の争点に憲法改正問題を！—96 条・領土・非常事態—」 |
| 13 年 11 月 13 日 | 憲法改正の実現へ！日本会議全国代表者大会（800 名） |
| 2014 年 5 月 3 日 | 第 16 回公開憲法フォーラム（「民間憲法臨調」主催）「国家のあり方を問う！—憲法改正の早期実現を—」 |
| 2014 年～現在 | 「女子の集まる憲法おしゃべりカフェ」を各地で開催 |
| 14 年 7 月 1 日 | 「集団的自衛権の行使容認に関する見解」を発表して安倍政権を激励 |
| 14 年 10 月 1 日 | 「美しい日本の憲法をつくる国民の会」設立 |
| 15 年 2 月 11 日 | 建国記念の日 奉祝中央式典 全国各地で奉祝式典開催 |
| 15 年 3 月 15 日 | 美しい日本の憲法をつくる国民の会 2015 年度総会を開催 |
| 15 年 4 月 16 日 | 第 54 回常任理事会で田久保忠衛が第 4 代会長に選任される。三好達は名誉会長に就任 |
| 15 年 5 月 3 日 | 第 17 回公開憲法フォーラム、「民間憲法臨調」と美しい日本の憲法をつくる国民の会が共催、「憲法改正、待ったなし」を開催。全国各地で憲法「改正」を求める催しを開催 |
| 15 年 6 月 20 日～ | 「憲法改正で日本を守ろう！全国縦断キャラバン（毎年実施）」 |
| 15 年 7 月 1 日～ | 美しい日本の憲法をつくる国民の会が全国縦断キャラバン。「都道府県民の会」の設立、賛同者を集める推進委員の拡充を目的に |
| 21 日 | |
| 15 年 8 月 13 日 | 「平和安全法制の早期成立を求める国民フォーラム」結成 |
| 15 年 8 月 15 日 | 第 29 回戦没者追悼中央国民集会を「英霊に追悼と感謝の誠を 安倍首相『戦 |

| | |
|------------------|--|
| <p>15年11月10日</p> | <p>後70年談話』を受けて」を開催（英霊にこたえる会、共同で声明発表）、『日本の息吹』（15年10月号）で「安倍談話」を称賛する記事を多数掲載 美しい日本の憲法をつくる国民の会が「今こそ憲法改正を！武道館1万人大会」を開催。11,000人が参加。安倍首相がビデオメッセージ。『日本の息吹』11月号全ページを使った「憲法改正特集号」</p> |
| <p>16年2月11日</p> | <p>建国記念の日 奉祝中央式典 全国各地で奉祝式典開催</p> |
| <p>16年4月6日</p> | <p>美しい日本の憲法をつくる国民の会「平成28年度総会」を開催、憲法「改正」賛同署名が607万人と発表。下村博文前文部大臣、馬場伸幸衆議院議員が挨拶。櫻井よしこ代表は「今こそ憲法改正のタイミングだ」と強調</p> |
| <p>16年5月3日</p> | <p>第18回公開憲法フォーラム、「民間憲法臨調」と美しい日本の憲法をつくる国民の会が共催、「憲法改正、待ったなし」を開催。安倍晋三首相がビデオメッセージ。全国28会場にインターネット中継。全国各地で憲法「改正」を求める催しを開催、憲法「改正」賛同署名が700万人突破と発表</p> |
| <p>16年5月17日</p> | <p>第56回常任理事会を開催し、日本会議の新理事長に網谷道弘氏（明治神宮権宮司、明治神宮崇敬会理事長）を選出・就任した</p> |
| <p>16年7月</p> | <p>「憲法改正をめざして」「『日本の息吹』10万人に広めよう」というキャンペーンを開始。「強く、美しく、輝け日本。」という表題のチラシには「日本の息吹は・・・朝日新聞に代表される偏向・虚偽報道。マスコミに惑わされない情報を伝えます。／学校教育で教わらない歴史と先人の姿を取り上げます。／子供たちに教えたいたい日本の国柄、日本の心を分かりやすく伝えます。」とある</p> |
| <p>16年8月15日</p> | <p>日本会議と英霊に伝える会が10時30分から靖国神社で「第30回戦没者追悼中央国民集会」を開催。13時30分からは若者を対象に「靖國の心を未来へ！感謝の心をつなぐフォーラム」を開催。主催は「感謝の心をつなぐフォーラム」実行委員会（事務局・日本会議）</p> |
| <p>2016年9月1日</p> | <p>『日本の息吹』16年9月号は「改憲勢力3ぶんの2確保一憲法改正、国会発議可能に」という大見出しで、当選者名に笑ってバラをつける安倍首相の写真と「(憲法改正の国会発議に向けて)しっかりと橋はかかったんだろう(安倍晋三首相)」と表2に大きく載せ、次ページに「参院選、与党圧勝。(憲法改正)新たなステージへ」という記事と日本会議推薦候補の選挙結果「山谷えり子候補当選249,844票、阿達雅志候補当選139,110票」などを掲載</p> |